

広島商船高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	卒業研究
科目基礎情報				
科目番号	0020	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 10	
開設学科	流通情報工学科	対象学年	5	
開設期	通年	週時間数	10	
教科書/教材				
担当教員	風呂本 武典			
到達目標				
"(1) 自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取り組みができる。 (2) 研究の目的を理解し、実験・社会調査を計画・遂行し、結果を整理して解析できる。 (3) 研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて論文が作成できる。 (4) 研究成果の資料を作成して発表し、説明することができる。"				
ループリック				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目2	研究の目的を理解し、実験・社会調査を計画・遂行し、結果を整理して解析できる。	研究の目的を理解し、実験・社会調査を計画・遂行し、結果を整理して解析できる。	研究の目的を理解し、実験・社会調査を計画・遂行し、結果を整理して解析できない。	
評価項目3	研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて論文が作成できる。	研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて論文が作成できる。	研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて論文が作成できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	"文献調査、研究計画、実験・社会調査の実施および結果の解析と考察を通して、専門的知識・技術を活用して流通情報工学分野の仕組みやシステムを創造する能力を習得し、その技術を基に問題点を発見してその解決策を計画・実現する能力、および研究成果をまとめて発表し説明する能力を身につけることを目的とする。具体的なテーマは、地域に特有の問題（離島、過疎、高齢化等）に関連するよう課題設定を行う。 学生は各研究室に配属され、担当教員による個人指導を受け、学年末に卒業論文を提出するとともに研究成果を発表する。 本科目は5年間の集大成であり、実験実習をはじめとして全ての専門科目と関連する。"			
授業の進め方・方法	"(1)卒業研究の担当教員が個別指導を行う。 (2)研究テーマに関する専門科目の授業の復習、専門書や研究論文等の文献を読んで理解に務めること。 (3)テーマへの取り組み姿勢、実験・社会調査データ分析・レポート・卒業論文・アブストラクトおよび卒業研究の発表を考慮に入れ総合的に評価する。"			
注意点				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	

		"1.スケジュール (1) ガイダンス（研究テーマ紹介、研究室配属決定） (2) 研究準備（調査・予備実験など） (3) 調査・実験・データ整理・解析など (4) 卒業研究中間発表会 (5) 卒業研究発表会 (6) 卒業論文アブストラクト・本論文提出"	
前期	1stQ	1週	
		2週	2.卒業論文は、所定の様式（背景・目的、実験・社会調査方法、データ・分析結果、考察・検討、結論・今後の課題など）に従って作成し、提出すること
		3週	"3.卒業研究発表 (1) 卒業研究発表会は公開とし、学外者、教員、本学科4・5年生および専攻科生を対象としてプレゼンテーションを行う。 (2) 研究アブストラクトをA4用紙1枚程度にまとめて提出する。 (3) 対象者に分かりやすいプレゼンテーションを行う。"
		4週	"4..各研究室とテーマ (1) 配属は4年後期のテーマ別プレ卒業研究を基本とし、前年度末に決定する。 (2)前年度の主な研究テーマは右欄の通りである。なお、本年度のテーマは追って紹介する。"
		5週	
		6週	
		7週	
		8週	
後期	2ndQ	9週	
		10週	
		11週	
		12週	
		13週	
		14週	
		15週	
		16週	卒業研究中間発表会
		1週	
		2週	

	3週						
	4週						
	5週						
	6週						
	7週						
	8週						
4thQ	9週						
	10週						
	11週						
	12週						
	13週						
	14週						
	15週					卒業研究発表会	
	16週					卒業論文提出	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0